

H22 総合選手権 リング使用限定規則

*試合場　：通常の試合場配置と同様とする。（入退場の位置、礼法、仕切線の位置）

*審判員　：主審はリング内、副審はリング下に配置する。　立ち位置・旗表示は通常通り。

* ロープ関連の規定：

ロープに身体の一部が絡んだ場合、試合を止め両者の体勢を正して、その場で試合を続行させる。

(事例)

- ・ロープを掴む。腕を回す。手足がひつかかる。
 - ・頭部、上半身がロープの外へ出る。（立技・寝技いずれも）
 - ・手・足がロープの外へ出る。（立技・寝技いずれも）
 - ・足を踏み出す。
 - ・ロープに足をかける。
-
- ・ロープ線内で、自らの身体を預けて反動を利用してすることは認める。
 - ・同様に相手をロープへ押しつけて攻撃することは認める。

(警告の対象)

不慣れな環境での試合となるため、基本的にロープにまつわる罰則は科さないで、

その都度試合を止めて両者の体勢を正して、その場で再開させる。

ただし、意図的に以下の行為を行った場合は、合議の上罰則を科する。

(禁止事項)

- | | |
|----------------------------|-------------|
| ・ロープを掴む。ロープに足をかける。 | (注意) |
| ・意図的にロープめがけて相手を投げつける。 | (注意) |
| ・形勢不利な状況で自らロープの外へ身体の一部を出す。 | (反則一本：戦意喪失) |
| ・ロープ越しに相手をリング外へ放り出す。 | (反則負け：危険行為) |